

---

# トイレ争奪戦！

のりまき

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

トイレ争奪戦！

### 【Zコード】

Z9333C

### 【作者名】

のりまき

### 【あらすじ】

4人家族の清々しい朝に繰り広げられる、トイレの争奪戦を描いた、アホ物語。どうじょ、読んでください。 息抜き作品のため、文章は拙いです。

(前書き)

息抜き作品です。

文章が拙くなつていまといふことを「理解していただければ、幸いです。

そう、それはある家族に起こった、壮大な戦争であった。

ある日の清々しく心地の良い朝のこと、4人家族のF家の一員がゆつたりとした時を過ごしていた。

朝食も済まし、リビングに4人は集まっていた。

突然、父が立ち上ると、姉の目が光る。

片手に持った新聞、目に涙を浮かべるほど爽快な欠伸……間違いないわ！

分析を済ますと、姉も立ち上がった。

2人の様子に気付く、弟と母。

辺りは緊迫の空氣に包まれていった。

「お父さん、トイレ？」と姉。

父は、眼鏡を人差し指で位置付けする。

くそっ！ バレたか。

「ふふふ、お前には関係のないことだ」

腰に手を添えた、母がお玉を父の持っている新聞に向ける。

「トイレに、新聞は必要ないでしょ？」

「そんなの持つてるから長くなるんだよ」と弟。

しかし、父にとつて新聞は、トイレに行くのに欠かせない代物だった。

「お前らも新聞くらい読めよ。勉強になる」

「何も、トイレで読まなくていいじゃない」

姉が睨みを利かせた。

3人に睨まれる父は、歯を食いしばっていた。

そして、3人は知っていた。

父が先に入れば、トイレがどんなに悲惨な場所へと変貌するか。

辺りの空気は張り詰めていた。

ダッ！ 突然、父が走り出した。

「トイレは、わしのもんだ！」

「コラッ！ 待てジジイ！ あたしが入るんだよ！」

「待つてよお！ 僕が入るんだからー！」

「まつたくもう。朝っぱらから……私が入るに決まってるじゃない！」

母を最後に、4人はトイレへと全力疾走。

先頭を走る父が余裕の笑みを浮かべて、後ろを振り返った。

しかし、それがアダとなり、前方不注意のため、壁に激突。

「わ、わしとしたことが」

「様ア見る、くそジジイ！」

「ジジイ、ダツサア！」

「おほほほほっ、そのままお寝んねしてな！」

3人に跨れ、父は脱落した。

なおも3人は、姉を筆頭にトイレへと走る続ける。

「うふふ、じゃあね、御2人さん。てめえらのママゴトには付き合つてられねえよー！」

途端に、姉のスピードが格段に上がる。

2人との差が、見る見るうちに広がっていった。

そして、とうとう、トイレの入り口へ辿り着く。

「あつはあー、お先に、失礼～」

「まだ、安心するのは早いわよ」

不敵な笑みをこぼしながら、母は弟の後ろを走り続ける。

姉は余裕の欠伸と共に、トイレのドアを開けた。

その瞬間、何かが姉の肩上をすり抜けた。

恐ろしさのあまり、膝を落とす姉。

「や、そんな……包丁を飛ばすわなんだなんて」

姉の崩れ落ちる光景に、弟は啞然とする。

「いや、こんな罠があつたとは……このババア、くされヤベエ！」

愕然とスピードを落とす弟を尻目に、母は先立った。

「おほほほほほほー、母親は最強なのよー！」

ハツと氣付いた弟は、全力で母を追いかける。

母が先にトイレに着いた。

「ふつ、敗者は外界で這い蹲つてな」

「わせねえー」

不敵な笑みでドアノブに手をかける母に全力で弟は突っ込んだ。

「我が拳に宿りし、暗黒の魔獸よ。今こそその力を解き放たれよー！」

赤く染まり、蒸氣を発する拳を弟は、母に繰り出した。

母の顔面に向かってくる拳。

た、ただならぬ攻撃力を察知！　く、くされヤベエ！

弟の拳が母の頬をかすめる。

か、紙一重で、かわしゃがつた！？

赤く腫れる頬をさすりながら、母は不敵な笑みを浮かべている。

「残念だつたわね、あんたの攻撃を避けるくらい、造作でもねえこ  
つた」

固まる弟を背に、母はドアを開ける。

「こままでか……。

弟が涙を浮かべた瞬間だった。

姉が包丁を母の顔面にかざす。

「あんたに、トイレスは渡さない。弟！　今のうちにへー！」

「で、でも、お姉ちゃん！」

「いいから、早く！」

すでに目が潤んでいる弟は、トイレへと急いだ。

しかし、次の瞬間、弟は脚を奪われ、その場に崩れ落ちる。

「あ、足掛けとは……姉貴、裏切ったな！」

「裏切る？ バカじゃないの？ これはサバイバル。すべては、自分のために決まってるじゃない」

甲高い笑い声と共に、悠々とトイレへと入っていく姉。

「ちよ、ちよっと……なんであんたが　」

バサリと紙が空を切る音と共に、便座に座る父の姿が、映し出される。

「楽しき光景を見れたよ」

父の息吹と共に、唚然とする3人の前で、静かにドアは閉められる。

【完】

(後書き)

『君がいた夏 時のせれくれ』と『鬼』の病連載中です。  
もしよろしけつたら、そちらも見てくださいな

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9333c/>

---

トイレ争奪戦！

2011年1月9日03時16分発行